

岸田てつはる 区政報告

発行所：自民党大田区民連合
(政務調査係)

住所：大田区蒲田5-13-14

電話：03-5744-1480

大田区は国内外の自治体と様々な相互交流を進めています。国内においては、秋田県美郷町、宮城県東松島市、長野県東御市と友好都市となっています。また、山形県長井市とは「災害時における相互応援に関する協定」が締結されています。国外では、中国北京市朝陽区と友好都市、米国セーラム市とは姉妹都市、中国大連市とは友好協力関係都市となっています。

昨年の国内自治体との交流は、7月に秋田県美郷町、8月に宮城県東松島市の両自治体の議会へ大田区議の代表団が表敬訪問と防災対策の現状を視察してまいりました。また、8月には長野県東御市の議員団が大田区議会訪問と大田区の施設を視察されました。国外の自治体では、7月に中国北京市青少年訪問団と中国大連市少年宮訪問団、8月に米国セーラム市学生訪問団、9月に中国大連市人民代表団（大連市議会議員）、10月に大連市副市長、11月に韓国ソウル市江北区議会の訪問団が大田区や大田区議会を訪問されました。

大田区議会では、10月に米国セーラム市・ボストン市・シカゴ市へ区議6名、中国北京市朝陽区・大連市へ区議6名を派遣し親善訪問調査をしてまいりました。私は米国への訪問団の一員として参加してまいりましたので報告させていただきます。



自民党大田区民連合
岸田 てつはる 議員

昨年10月に実施された 米国セーラム市親善訪問調査について

昨年6月に開催された平成30年第2回大田区議会定例会において「セーラム市親善訪問調査に伴う議員の派遣について」の議案が議決されました。これに基づき10月22日から27日までの6日間の日程で大田区議会セーラム市親善訪問調査団として、大田区と姉妹都市である米国マサチューセッツ州のセーラム市とボストン市、イリノイ州シカゴ市を訪問しました。今回の訪問調査では、「産業」「まちづくり」「教育」「文化」「児童虐待防止」を重点視察項目とし、区議6名による訪問調査を実施しました。

セーラム市と大田区との関係は、大森貝塚を発見したモース博士が米国に帰国した後、セーラム市にあるピーボディ科学アカデミー（現ピーボディ・エセックス博物館）の三代目の館長を務めた縁により、昭和59（1984）年に馬込にある大田区郷土博物館とピーボディ科学アカデミーが姉妹館提携をしたことがきっかけとなり、平成3（1991）年に大田区とセーラム市の姉妹都市へと発展しました。

セーラム市は米国東海岸のマサチューセッツ州にあり、ボストン市から電車で35分、バスで1時間程の所にあります。2017年の調査によると人口は4万1千人程度。1626年にヨーロッパからの入植によってできた米国でも古い街のひとつです。17世紀末には、ヨーロッパから飛び火した魔女狩りが行われ、実際に魔女裁判が行われました。しかし、現在では魔女はセーラム市のシンボルであり観光資源にもなっており、ハロウィンの季節には全米から多くの観光客が訪れる賑やかな街です。

現在、公募による大田区民親善訪問団が毎年のようにセーラム市を訪れ、学校訪問やホームステイを通じた交流が盛んに行われています。本年度も11月14日から21日までの8日間訪問し、市庁舎やピーボディ・エセックス博物館の見学、ホームステイ等により交流を深めました。また、大田区中学校生徒海外派遣事業では、区立中学校の2年生56名が、セーラム市とドイツブレーメン市に28名ずつに分かれ、日本と異なる海外の生活や文化・産業・福祉等を見聞し理解を促進すると同時に外国の方々に大田区や日本の良さを伝える取り組みを行っています。

そして、昨年の8月には、2016年以来2年ぶりにセーラム市から学生訪問団（学生8名、引率3名）が大田区を来訪されました。滞在中は、区内の家庭でホームステイを行うと共に8月15日に六郷土手の多摩川河川敷で開催された「大田区・花火の祭典」では、ステージに登壇し合唱の披露がありました。

今回の親善訪問調査団は、セーラム市との交流を更に深め、より良い関係を築いていくことが目的でした。渡米前に団員による会議を8回開催し、今後の大田区の更なる発展と住んで良かったと感じていただける街にするために活発な議論を行った末、訪問調査の重点視察項目を「産業」「まちづくり」「教育」「文化」「児童虐待防止」としました。特に対策が急務となっている児童虐待防止については、医師であり児童虐待防止に関する支援活動に携わっている山田不二子先生を講師に迎え研修会を開き理解を深めました。このような事前準備を重ねたうえで渡米しました。

セーラム市では、市議会の方々に温かく迎えられ市庁舎まで案内していただき、キンバリー・ドリスコール市長を表敬訪問しました。毎年大田区の中学生達を受け入れていただいていることへのお礼や今後の両都市の友好・親善関係をより深めていくため、更なる友好交流の促進などについて意見交換を行いました。また、前出のピーボディ・エセックス博物館にも訪問し、小さな街の博物館を全米的に有名にしたダン・モンロー館長と文化財の保護や展示などについて意見交換しました。

ボストン市では、駐車場として今まで活用されていた街の中心部から少し離れた湾岸地区の再開発、フリーダムトレイルと呼ばれている市内の主要な観光地16箇所を巡ることができる歩道の整備状況、子供の虐待防止・児童相談業務の充実への取り組み、障害の有無に関わらず同じ場所で学習するインクルーシブ教育や日本式による自閉症児のための学校の実情の視察。シカゴ市では、大田区の中小企業による海外進出の様子、臨海部のまちづくり、にぎわい創設、空港から市中心部への交通アクセスの状況、児童福祉の向上の取り組み…等を訪問調査してまいりました。

今回の訪問調査で得た知見を、今後の大田区の更なる発展のために区政に積極的に反映させていきたいと考えています。

最後に、今回のセーラム市親善訪問調査の実施にあたりまして、ご多忙の中、訪問調査を受け入れていただきました関係各機関の皆さまに感謝申し上げます。特に在ボストン日本国総領事館の道井緑一郎総領事からは、総領事館が作成した「米国東部ニューイングランドからみた日米関係と日本を巡る情勢」と「マサチューセッツ州のエコシステム」という資料をわざわざ滞在先のホテルまで届けていただきました。日本国の海外機関の活動の末に得た最新資料を、この訪問調査に活用でき大変感謝しております。また、渡米に際して大田区議会事務局に様々な支援をしていただき心からお礼申し上げます。

大岡山駅前交差点周辺の 大田区道主要第30号線の道路整備について

大田区主要第30号線は、環状七号線南交差点付近から大岡山北口商店街～大岡山駅前～大岡山南口商店街を通り中原街道へと繋がる生活道路です。この道路の国立大学法人東京工業大学（以下：東工大）正門前の大岡山駅前交差点に面している箇所は、特に普段から駅や商店街を利用する車両や大学へ出入りする車両、駅と大学を往来する歩行者が非常に多く、動線が錯綜して危険な状態であったため、交通の安全性確保が課題となっていました。このため、東工大正門周辺の歩行環境の改善、防災機能の強化、快適な都市景観形成を図るために道路整備事業を行うこととなりました。

大岡山駅前交差点に面した東工大正門周辺の歩行環境の改善に向けて、東工大側より、現在大学正門にある車両出入口を南側に移設すること、また、道路を拡幅するための拡幅用地として大学敷地の一部を活用する提案を受けました。大岡山駅前の歩行者と車両の錯綜した動線の改善には東工大側の協力が不可欠であると区は判断し、先般、大学側と相互協力について確認する覚書を締結しました。

拡幅整備事業の概要は、東工大正門から大岡山南口商店街に面した約110m（大田区北千束三丁目28番から30番先 具体的にはマクドナルド大岡山店から城南信用金庫大岡山支店手前までの区間）となっています。歩行者の安全性向上と災害時の電柱の倒壊を防止するため、東工大の敷地を活用した道路の拡幅と無電柱化工事を行います。この拡幅整備により現状5.4mの幅員が倍以上の12.0mまで拡幅されることとなります。

この事業の作業日程は、今年度から測量・設計委託がスタートし、2022年の完成を予定し進められていきます。

区議会へ区民の皆さんの声を届けます。

皆様のご意見やご要望をお待ちしております。

自民党大田区民連合 TEL：03-5744-1480